

19/8/5 石垣部会

室長 堀田：始める

佐治：暑い中ありがとう

松雄局長は午後から

本丸搦め手馬出など

異例の午前午後審議

天守台石垣

3月部会→さらに議論が必要

文化庁審議中 その部分とは切り離して保存方針について

忌憚ない意見を

服部所長：4月調査研究センター発足

所長拝命服部

3人先生には挨拶した

とても古い知り合い ともに文化財保護の道を歩む

考えていることも同じだろうと思っている

福岡城復元問題 窮地にあった 千田・宮武先生に助けてもらった

人生最後の奉公 助けて 名古屋市を助けてほしい

410年たった

340年天守があった

姫路城体積比2.5倍 柱も2倍

石落とし 銃眼両側 黄金井戸がある

御成階段 通用階段 御成階段は嚴重に鍵がかけてあった

通用階段 槍が刺さっている

最上階何が入っているかわからないが拝礼

当時の技術 下から上 大砲届かない

最後の最後まで籠城することがわかる

柱

文化財保護法3条 歴史と文化を正しく理解するため

4条 特別史跡である以上、歴史を正しく理解するのは大前提

昭和20年5月14日焼けた

いとこ目撃している

街の中煙 練兵場まで行ったら燃えているのを見た

すばらしい天守があったと思う

城を造るときは人柱が立ったという伝説
許されるのなら私は人柱になりたい

堀田：出席者紹介

西田、文化庁、高田は欠席
写真ビデオの撮影はここまで
資料は57ページまで
解体现状変更許可について事務局から説明

蜂矢：天守閣整備担当主幹から説明

4月19日提出
5月17日諮問
第三専門調査会
確認事項をいただいた
経済水道委員会資料をつけた
確認事項に対する 6月19日提出
6月21日 第三専門調査会で引き続き議論 議題にならなかった
今後の予定はお示しできないが丁寧かつ速やかに結論をだしたい
許可・不許可の結論が出ていない
工期の見直しも含め、天守閣部会、石垣部会、竹中工務店と協議したい
最善の道を達成したい
引き続き資料1説明
解体工法 震度ゼロ
穴蔵部分は解体しない
仮設栈橋・構台 樹木は移設する
遺構への様々な影響 発掘調査の結果軽微だと判断
工学的だけで判断していいのかという意見→内堀調査
石垣部会 意見を原文のまま掲載
経済水道委員会資料について村木から

村木：文化庁からの確認事項 名古屋市の回答

6月26日資料のみ説明する
確認事項 全般的事項と個別事項
現在審議中なので個別の内容については差し控えたい
これが示している資料

北垣：議事を進行 報告事項

報告事項の中で、構成員の中から意見が出ている

私の立場ではないが、聞いて頂く必要がある

村木：報告なので、こちらが司会する

北垣：聞いていない

宮武：今までないイレギュラーな進め方

事実確認 3. 4 ページ

経済水道委員会資料

文化庁側に案？

村木：これをだした

宮武：これは返したのか

村木：6月19日に文化庁に返した

宮武：巨大な勘違いをしているのではないか

天守閣部会でどのような議論 議事録がこない

市民オンブズマン記録 メディア読む

誤解が天守閣部会で蔓延しているのではないか

石垣部会の説明がなされていないのではないか

ゴールを動かしている 石垣部会がまた調査させている

これは大問題

4 ページ調査の区分：上段

天守台健康度、内堀健康度 1年半やった

トレンチ やった結果怪しい 小天守 計画に達せられない

堀底に攪乱

追加して調査してください

上の区分のことですよね 工事のこと？

下段 仮設 トラックヤード 仮設用道路 下の調査をなぜしないのか？

これに対応するのがこれか？

現況把握のための調査

そのことと、特別史跡で工事すること 区分けができていないのではないか

どちらに当てはまるのかわからない
一番はじめ説明 2ページ
現状変更申請 6番の発掘調査
工事の際の遺構調査のことですよね
「これは5月の部会でやってください」部会で指摘
部会は経由していないが増やした調査
9番と6番は同じ調査のことか？
今年しようとする堀内の発掘調査のことですか？
この文面ではわかりにくい
このまま天守閣部会で報告すると混乱する

村木：資料の性格上丁寧に説明できていない
今日の午後に議題 内堀発掘調査 あくまでも現況把握
工事の解体 工事のための調査 厳密に分けて考えている

宮武：分かれてないでしょう

村木：文書を付けて現状変更申請した
内堀調査をしていないというものだったので書いた

宮武：厳密に分かれていないまま文化庁に出したのか
誤解を解いたのか

村木：そのまま書いた

宮武：経済水道委員会にも出した
ご自身がまざったままとしたまま訂正しないのか

村木：確認事項 やっていないということ
審議中なので説明しにくい
丁寧な説明が一部できていない

宮武：改善していくのですね？
混乱したまま進めていくのは問題

村木：午後の議題で区別する

宮武：3 ページ 本市の回答区分

天守解体 「有識者についてデータに基づいた建設的な議論が進展していない」

データ不備のため

このデータではわかりません いろんな指摘をして

データなるものが出てきた

ようやく議論ができると思った

違うと思う

村木：私どもの不備があり、客観的には建設的な議論が進んでいない

佐治：補足

資料の提出時期が遅れている

十分反省している

議題に入る前の原則論で時間がとられた

赤羽：最初からこういう議論になるのは、資料の作り方が起こしい

経済水道委員会資料

石垣部会に対する報告

文化庁がどのような報告を求めたか書いてほしい

いくらでもあったはず お互い

確認を求めたこと 本市の回答がリンクしない

中身が出ていない 全く出ていない

齟齬みたいなものが出てきてしまう

ちゃんと確認事項と回答が対にならないと私どもは理解できない

佐治：文化庁の方から、確認事項がでてきた

議会の方から明らかにしろ

文化庁から「審議中」明らかにしないように

区分だけは出すという調整ができた

名古屋市に提出されたので、市が出した

ご理解を

赤羽：どういうやりとりがなされているか把握することが重要

絶対おかしい

裁判ではないので、名古屋市が作った資料

審議に阻害する 考えられない

文化庁が「どういうことを指摘するかいうな」といったのか

佐治：文化庁とやりとりしているので、そこについては

内容については出してくれるなという意見

ここがぎりぎり

赤羽：こういう形で議会、石垣部会でだと文化庁はいったのか

佐治：最終的に市の判断で出すと報告

赤羽：ここまで出してくれるなとっていないのですね

佐治：文化庁は出してくれるなとっている

千田：文化庁にどういう書類を出すのか石垣部会もしらない

どのような復元計画かもしらない

「文化庁から石垣部会の意見を付すように」

生産的なのか？

服部所長「力を貸してほしい」敵対している訳ではない

一緒に協力して名古屋城の整備がよい形で進んでいくように

ちゃんとどういうことが文化庁から投げられていて

どうすればよいのか部会に示してもらわないと、力の発揮しようがない

文化庁のやりとりが秘匿される、どういう現状変更申請を

委員に知らされないのはほかに知らない 体験したことがない

限られた時間の中で、はっきりと示されている建設的な議論をどう

進めていくか 情報を共有して 問われているのではないか

佐治：故意に隠しているわけではない

千田：そういついたのでは議論できない

示されていないのに議論ができない

議論するため設置されているのが石垣部会

石垣部会に対しても経済水道委員会資料と同じでは議論できない

文化庁がどういう要望、懸念 わかっている

議論しろと言うのはどだいおかしい話

通り一遍の総合事務所長の回答では、建設的な議論ができない

堀田：ほかに質問は
御深井丸発掘調査

村木：工事のための調査

まさに申請中 なかなか詳細な図面を付けられない
まだ許可頂けるかどうかわからない
5ページ 赤い四角 5メートル 2メートルトレンチ
遺構面までの深さ、どのような遺構があるか
工事を前提とする
影響があるのなら別途検討する

名古屋城：御深井丸に存在した建造物について

図1 正確な位置は検討を要する
調査場所とははずれている
重なる可能性 図1 御番所
絵図、文献 18世紀以降は大きな建物は建っていない
図2 宝暦大修理 大工小屋など仮設で建てた
宝暦大修理以外、大きな変化は確認できない
番所のみ 絵図・文献に残されているもののみ

村木：現天守の解体に先立つもの

現状変更の進展 定まっていない
実施をするのに先立って各種調査をする
前回今年度予定 石垣部会に諮らないのか？
「親の委員会で」回答
一つ案 石垣でも庭園でもない埋蔵委員会にいちいち諮るのか？
二の丸地区南部 埋蔵文化財部会をあらためて検討したい

堀田：質問は

宮武：実際の遺構と文献 つきあわせてすることが理想
ようやくできた
城郭調査常識 一国一城
慶長以降なにもない、というのは違う

実際に調査してみないとわからない

石組み水路、砂利敷、のべ床はかかれない

災害過程 瓦、釘

重機が上に載ったら破碎するのか？

「目立った建物が無いから安心して」は危険

報告2の図面 現状変更許可 トレンチ配置図まで入れているのでしょうか？

文化庁から聞いている

具体的にどこにトレンチを入れているか

報告なので議論できない

この範囲 工事では何が載ってくるのか 設計上

5月に出した資料にはあったと思う

蜂矢：構台の基礎、栈橋の基礎

宮武：運搬用の資材はどう載ってくるのか

御番所の右からどうはいるのか

蜂矢：御番所の右

栈橋は斜めに入る

栈橋は

宮武：堀を越えるのは数十メートルあるが

蜂矢：鉄骨で橋を架ける

宮武：どこか

蜂矢：いったん外堀を埋めて人工地盤をつくる

スロープ状栈橋を造る

宮武：足が曲輪の上に載ってくる

調査対象になぜはいつてないのか

S17 石垣の上に基礎をのせるのか

蜂矢：S17石垣から距離をとってやりたい

宮武：堀水面から赤い囲みにくるのか

蜂矢：そう

宮武：鉄骨、台
20メートルくらい

蜂矢：ボトルユニットで埋めて人工地盤
栈橋の足を作る
栈橋部分と

宮武：15メートルくらいある
足も着けないのか

蜂矢：75メートル一発でとばす

宮武：全く荷重をかけないのか

蜂矢：飛んでいる部分は加重はかからない

宮武：図で明示されていない
相当な重量をかける 堀底も特別史跡

蜂矢：S17遺構がある可能性もあるので
石垣を補強してボトルユニット

宮武：これも調査対象に含めないと行けない
施工図もない、工法も明示されていない
枠でトレンチ
絵図で「過去なにもない」
文化庁が認める可能性はない 特別史跡の性格上

村木：外堀調査をする計画はない
どういう計画にするか

宮武：石垣部会ではしないと言った

埋蔵部会でやるのではないか

村木：外堀石垣

宮武：矛盾がある

自分で親委員会でやるといった

埋蔵部会でやると

村木：石垣については石垣と言ってきた

千田：熊本城 大きな橋をかけて本丸まで見学できるようにしよう

私熊本城委員

どこにどういう橋が架かる 委員に明示される

どこに基礎が来る 文化庁にどうしたらいいか議論して発掘区をきめて

現地でも検討して進めていく 手順

今回5番目 御深井丸発掘調査 この資料で報告 見たことない

いくら文化庁

トレンチの配置図まで示さない 情報秘匿

石垣部会了承 文化庁報告していこうというのは

この議論をしてなんの議論をするのか

トレンチ図面が示されていれば、無駄な時間とらなくていい

敵ではない

名古屋市をやめさせるのではない

手続きを進めるためにどうすればよいか

埋蔵文化財部会

石垣の取り合いのところ

さらに埋蔵文化財部会 石垣部会との調整が複雑になる

「埋蔵文化財・石垣部会」あわせてやらないとだめ

総合的な判断をアドバイスできない 何年も提案してきた

総合事務所、調査センターの皆さん知っているはずだ

総合的に判断しないと行けないのに分断してやるのはあらためるべきだ

全く同じ方法 現実を名古屋市は直視してほしい

力の貸しようがない

こんなことをなんども申し上げない

こういうことをクリアしないと議論が進まない

文化庁に現状変更申請受け付けてもらえない

服部所長：これまで3月部会にはかったから今回報告だけという理解

宮武：簡単な工事の概要だけ
調査が必要だといった

服部所長：現状変更申請の図面は？

宮武：みていない

服部所長：遺跡を保護するために調査する

宮武：加重がどのようにかかるのか
曲輪、堀にかかる
水たたき、犬走り 調査もしていない
3月 色分けの図だけ見せられた

服部所長：熊本城 歩道 絵図がある
クレーン車がかかるところは調査していない

宮武：新しく道
台座をおいていく
トレンチ調査をしてやった
今まだ施工説明頂いた

蜂矢：工学的は3月に示した
軽微とした

宮武：遺構

蜂矢：遺構に影響するのか発掘調査

宮武：妥当かまったく審議していない
文化庁に現状変更

服部所長：トレンチは書いてあるよね

宮武：文化庁から指摘されて書いた

千田：名古屋城「遺構に影響がない」

石垣部会 遺構面はどこですか？→わかりません

トレンチの設定 適切かどうか判断できない

これで説明

文化庁につけていると所長が言っているが

服部所長：理由は聞いているが、それはいえない

ここは公開の場

文化庁の秘密主義は知っているでしょう

千田：私は文化庁の審議会ではない

宮武：トレンチ調査まで非公開はなぜか

村木：現在現状変更申請中

だから報告題にした

宮武：今出したのに審議

村木：議題にあげるのはおかしい

お示ししていない図面類 どの情報をだすか整合性をあわせないと

宮武：文化庁に申請している図面を差し替えることはあり得ない

村木：現状こうなっていると報告した

千田：委員会の仕組みそのものが無意味ということ

納得いかない

「地下に埋蔵されている遺構に影響する」石垣部会の指摘を受けて

名古屋市が変更したのは感謝したい

どこをどう調査するのは委員会で議論した上で現状変更申請するのが

望ましい形

前回もこれはこういう調査をしないといけないんだ

石垣部会でも知らない

どのようにトレンチ配置するのか

小太守横 調査したがなにも成果が上がらない 過去そうだった
筋道を踏んで頂きたい

宮武：今気づいた

今の図式 前回の部会 「調査をしないのは考えられない」

トレンチ案 石垣部会に示して現状変更申請 それをとばした

現状変更許可が下りたとしたら、

名古屋城と文化庁で決めたことをひっくり返せるのか

文化庁に説明しないとおかしいのではないか

全責任を文化庁に負わせるのか

次のもめ事、次の議論の停滞を招きかねない

設計図 是か非か審議していいのか

服部所長：仮定の話だから議論できない

宮武：有識者の議論をなし

服部所長：5メートル角で2メートルでわかる

宮武：愛知県として前例としてあるのか

洲崎：基本的には委員会でもんで頂いてから提出する

服部所長：議題で時間がかかる

宮武：審議されていない

服部所長：資料を以前出した

村木：現状変更申請したので報告した

千田：愛知県は見たことも聞いたこともないと言っている

名古屋市がこのようなことをしておきながら、石垣部会の責任と
所長がいうのは心外

宮武：次のトラブルを避けるため、文化庁に説明を

村木：御納得いただけない報告は申し訳ない

堀田：時間もないので次に

北垣：報告題でこんなに時間がかかった

調査する際に石垣部会が全く関与しないのはない

報告事項でなさっている

もう一度しっかり整理して頂いて

中身もわかりにくい

もう少し一般の皆さんにわかりやすく

石垣部会が関与できるように

「ちょっとはいこれでいいですね」なりにくい

それ以上厚かましいことをいうわけではない

常識的な範囲で

11：26

堀田：ありがとうございました

進行は座長に任せる

北垣：本題に入る

1 番目 午前中に終わらないと行けない

2 番目 天守台調査

そのつもりでいた ちょっと時間的に簡単にいきにくい

逆に言うと、事務局として

3 時 2 本立ていままでなかったこと

今後もやってほしくない

事務所側に考えてほしい

事務局案 3 時に終われる保障ないでしょう？

昼休み 30 分ほど

やりますが、とりあえず

また所長と検討する

早速この資料について説明を

名古屋城：資料 3 - 1 1

本丸搦め手馬出石垣修復

中長期 資料 4

今年度 資料 5

本年度中 予定

資料 5 を詳細に説明したい

北垣：資料 4, 5 について

資料 4 年度ごと

資料 5 本年度説明

宮武：中身の前提は委員見ている？

指摘を先にする

10 ページトレンチ趣旨

名古屋城：資料 3 の I 予定だけ

宮武：そうか

北垣：全体を説明して

名古屋城：勾配 資料 6

石材 資料 8

石材補修 資料 9

円弧滑り解析 資料 10

安全性は今後検討

文化財調査 これまでの調査 築城時と天和時 栗石調査

石材カード

宮武：慶長期の突き石の背面を確認する なんのため？

掘り下げたら慶長期

トレンチ配置図資料 11

名古屋城：エクセル

宮武：これを掘っても天和はでない

名古屋城：混ざっている

宮武：掘り足りないだけではないか
天和の裏栗と慶長の裏栗が安定性が違う
何を調べたいのか

名古屋城：調べる目的は、変化点 境目を調べる

北垣：22ページ？

名古屋城：32ページ
慶長期の栗石の境目を確認したい

宮武：なんのため？

名古屋城：きちっと確認する

宮武：なんのため？
慶長と同じにするのか？
特別史跡なのであんまり掘り下げてはいけない
なんのためのデータが必要か
慶長の裏側を掘り下げたら遺跡破壊

名古屋城：境目を

宮武：なんのために反映するのか
どこからの意見か

北垣：慶長と天和 解体でどういう課題があったのか

宮武：ここまで10年 裏の調査をやってきた
だめ押しでなぜトレンチをいれるのか
天和の石をそう取っ替えするのか

北垣：異なるのならどう異なって、

どういう影響なのか

名古屋城：栗石がどういう悪さがしているか

宮武：内部で議論した方がよいのではないか

手術

やらざるを得ないことだけ 最低限のだけやる

なんのために必要なのか 曖昧のまま計画していないか

どうも目指すところがわからない 賛成することが難しい

まだ慶長と天和が混じっている 掘り下げていないだけ

安定面まで掘って検討するのなら、こんな小さなトレンチではだめ

北垣：ほかに意見は

千田：天和だからそれをとらないといけない、という議論にはなっていないと理解

乱暴 方向が違うのではないか

調査するのでは、栗石どう積み直しするか検討

これまでの調査でわかっていることではないか

修理にいかん反映するか

基本的には必要ないのでは

宮武：プロの意見

和田さん 問題ありそうですか

和田：難しい

天和の裏栗 不安定なのは事実

栗石 痛んでいる 健全な石垣かどうか確認する必要はある

こんだけの幅でよいかわからない

宮武：変状を確認する調査なら有意義

北垣：いい現場の意見

加重がかかっていく それに対してきっちり伝統技術で支える構造体にな

っているのか

ほかに資料3意見は

服部所長：新補石材の場所は？
くさび工法か？新しい工法か？
単価の違いは？

和田：現状では現代工法を利用
どうしてもといえば過去

服部所長：火薬を使うのか

和田：せりやでわるかとびやでわるか
どうしても素人なのでせりやでわりや

服部所長：石はどこから

和田：私ではわからない
調査にいったが、現代やっているかどうか
台座の石どこからでるか

服部所長：手配までよい

和田：候補地探すのも大変
原石 とびやでわる せりやでわる 最悪発破使う

宮武：新しい石を入れなくていいと思う
1割2割 交換しないと行けないのは？

和田：1割では聞かない
どこで探すか問題
今の石を使う方針

服部所長：崩れた原因はわかってるのか
原因を直さないといけない

和田：孕んだ原因ははっきりわからない

宮武：杭をいれてやる

天和の積み直し 無理なことをやっている
安定策は終わっている

服部所長：やり方は

宮武：資料4以降

北垣：使えるための石材 調査できていない
孕みの原因が何か 地盤工学の専門家がいる
再調整しながら
大きい問題は、2つめの修復勾配どうするか しっかり検討しないと行けない
今12時5分前 時間的に中途半端

服部所長：もうちょっとやってもらわないと

北垣：修復勾配どうするか
なにをどうするか
やってください

名古屋城：資料7 修復勾配 東と北検討
資料7-1 変状 天和期に積み替えられたところ
資料7-2 変状を生じている ナンバー6-21
中位から下位
検討 他城郭 ナンバー38勾配を検討
近世 石垣秘伝の書
資料7-3 のり勾配 5間目からそりがつく
ナンバー38をさせる
資料7-4 そりがつく
19ページ 石垣秘伝の書 資料7-5

12:06

北垣：石垣勾配 いくつか江戸時代資料がある
その中でも安定している慶長勾配
櫓台 すりあわせ

宮武：確認だが、資料7-1 立面の状況から断面確認

38をモデル 下部が天和

43番以降 天和の遺構が残っている47-50

断面とずれはありますか？

名古屋城：ほとんどかわらない

慶長期 おおむね同じ形

宮武 反対側 資料7

明確にわかりやすい問題 東面7-5

天端より38 1メートル前に出ないといけない

これで復元したときに、ぐうかく部のずれは大丈夫か？

勘所として、1メートル前にでて、ぐうかく部のずれはいいのか

名古屋城：戻すときは頭のところはあげる必要性

そこで調整する

位置も調整できると思う

頭の部分 平面の部分は検討が至っていない

宮武：38だけで決めちゃうのはどうか

施工側はどう思っているか

和田：検討しないと行けないが、撤去前の位置はほぼ動いていないと考えていた

頭は動いていないのが大前提

わどりはあったのではないか

勾配の取り方がこれでよいか

線のもっていきかたがこれでよいか

天端の位置は戻すのがよい

宮武：変状前に近いのは38ではなく、遣り方図

残りの

ぐうかく部のラインを重ねてやったか

名古屋城：前に出る

資料7-4 ぐうかく部 緑ラインが38

おもに孕んでいる部分をどうするか検討

上はずれていく
工法を決めた上で精査する

北垣：資料7-4 慶長段階

名古屋城：16-26 上は近代 下は築城時

北垣：それ以下の部分は天和の積み替えライン すりあわせができてくると言うことか

名古屋城：そう

北垣：そのあたりを再度調整
棟梁の意見を反映させて

名古屋城：大きな方針を確認した
今後細かくしたいでよいか

北垣：勾配をどう決めるか
現在残しているものを復していく
資料がないから
こちらは資料がある 変遷 そういうことを組みあわせながら検討を

名古屋城：宝暦大修理とどう整合するかは今後検討

北垣：いかがか

宮武：方向としてはそう
現在ある慶長期の石垣と
急に立ち上がっている
23ページ モデルが38
これの勾配変化がわかりやすい
掘っていないからわからない
28, はらんでいるところ 14
この勾配変化とならないでしょう

名古屋城：14 慶長と天和の境界面

天和に積み替えたところから孕んだ
天和に積み替えた状態に戻す

宮武：そう

とおしでの勾配 疑問がある
積み替えのところから考えないと行けない

名古屋城：安定 栗石 杵構でやる

宮武：杵構は天和ではやっていない
勾配角度が石垣として妥当か
時代変化 矛盾を抱えているのを承知で

北垣：いかがでしょうか

一応現在進んでいるところの勾配の検討 もう少し進めて頂くでいいですか
時間的な問題があるが、昼休み

堀田：1時10分から再開を